

たから

TAKUSUI
No. 632

6

June, 2009

発行 財兵庫県水産振興基金

兵庫の漁業人のための情報誌



竣工間近の兵庫県水産会館

NEWS

「兵庫県豊かな海創生支援協議会」設立

Report

各団体の通常総会他報告
新組合長・新入職員の紹介

お知らせ

JF兵庫漁連の会長、副会長が6月1日付で交替されました。

G号沈没事故に伴う油流出問題、燃油高騰対策や政治力結集運動など、兵庫の水産振興に尽力されたJF兵庫漁連代表理事会長 小松司氏は、このたび健康上の理由で退任されました。これに伴い、6月1日付で副会長理事であった山田隆義氏（JF神戸市代表理事組合長）が代表理事会長に、理事であった田沼政男氏（JF林崎代表理事組合長）が副会長理事に就任されました。



JF兵庫漁連 代表理事会長
やまだ たかよし
山田 隆義

新組合長紹介のコーナー

よろしくお祈りします！

今年就任された新組合長を紹介します。



JF白浜
ほしお くにひろ
星尾 国弘



JF姫路市中部
なかの あきみち
中野 昭道



JF仮屋
おかだ みつじ
岡田 光司



JF森
もり よしまさ
森 義政



JF淡路町
ひがしね ひさし
東根 壽



JF室津浦
はまだ ゆたか
濱田 豊



JF五色町
はりま こうじ
播磨 孝次

新人紹介のコーナー

今年採用された新入職員を紹介します。

JF兵庫漁連



石油事業本部石油部
明石油槽所
きしもと しんご
岸本 晋吾

先輩方の指導を良く聞き、足を引っぱらないよう頑張ります。



石油事業本部石油部
淡路油槽所 (津名油槽所担当)
うおずみ けいた
魚住 桂太

わからない事ばかりですが、精一杯頑張ります。よろしくお祈りします。



石油事業本部石油部
西飾磨給油所
きむら あきひろ
木村 明博

新入職員の中では一番年上なので、みんなの見本になり、先輩方に認められるよう精一杯頑張ります。



組織統括本部
総務部付 (のり流通センター勤務)
かわさき ひろあき
川崎 裕聡

わからないことだらけですが、1日でも早く仕事に慣れることが出来るように頑張りたいと思います。



組織統括本部
総務部付 (加工場勤務)
ひぐち かずひろ
樋口 和宏

分からないことばかりでご迷惑をかけると思いますが、一生懸命頑張ります。



組織統括本部
総務部付 (明石油槽所勤務)
もりしげ ゆうた
森重 雄大

一日でも早く先輩、組合員様のお役に立てるよう精進しますので、よろしくお祈りします。

JF兵庫信漁連



香住支店

よしかわ やすはる
吉川 康治

自分なりに小さい目標を設けて一つずつクリアしていきたいと思えます。よろしくお願いします。



営業部
業務課

ぬまた りさ
沼田 理沙

これから様々なことを学んでいきたいと思えます。よろしくお願いします。

兵庫県内海漁船保険組合



損害審査部

しもがき まさる
下垣 勝

職務知識の吸収に励み、できるだけ早く組織に貢献できるよう、努力したいです。

JF林崎



はしもと じゅんじ
橋本 淳司

早く組合員の方のお力になれるよう、一生懸命頑張ります。



さくらい めぐみ
櫻井 めぐみ

自分の仕事を早く覚えて役に立てるよう、頑張っていきたいと思えます。



しいな はるか
椎名 遥香

少しでも早く仕事を覚えて、組合員や先輩方の役に立てるよう、元気に明るく頑張ります。

JF浜坂町



みやまき かずや
宮脇 一也

学校卒業後、飲食業・建設業といった今とは全く違った職種の中で様々な経験を積んできました。また新たな世界へと踏み出した自分ですが、上司の方からの厳しい指導とこれまで培ってきた経験を活かし、自身の成長と組合の発展に臨んでいきたいです。

沿岸域の環境回復、生態系保全に国が支援事業

「兵庫県豊かな海創生支援協議会」設立



豊かな海は健全な藻場、干潟、浅場に支えられています。近年、藻場・干潟の減少や、機能の低下がみられます。国では恵み豊かな海を守るため、藻場・干潟等の機能の維持・回復に向けて、様々な活動を行う組織の取り組みを支援する「環境・生態系保全活動支援事業」を今年度からスタートしました。これを受けて、この事業の県域窓口となる「兵庫県豊かな海創生支援協議会」の設立総会が、去る5月22日、明石市内で開催されました。この協議会は、県・市行政、県技術センター、漁連など、11機関・団体が会員として参加し、水産資源の保護・培養や、水質浄化等の公益的機能の発揮を支える藻場・干潟等の機能の維持・回復を図るため、漁



協議会での審議の様子

業者や地域の住民が行う効果の高い環境・生態系保全活動の推進を支援していこうというもので、総会には会員機関等の関係者約30名が出席し、県山村水産課長を議長に規約の制定や役員選任などが行われました。

協議会では、今後、会員市行政と連携して活動組織への説明会など事業啓発を図る一方、指針の作成、交付金事務など、国の仕組みに沿って支援事業を進めていくことになりました。

選任された役員等

会長	兵庫県 漁業協同組合連合会	専務理事	山口 徹夫
副会長	兵庫県 農政環境部農林水産局	水産課長	山村 雅雄
監事	(財)兵庫県水産振興基金	専務理事	戸田 氏懿
事務局長	兵庫県 漁業協同組合連合会	指導部統括	佐藤 泰弘

魚食普及と食育活動をさらに推進 摂津地区漁協女性部連合会

6月2日(火)、神戸市立水産会館において、摂津地区漁協女性部連合会(井上二三枝会長:JF神戸市)が、平成21年度通常総会を開催しました。神戸市産業振興局農水産課係



審議の様相

長 盛田周吾氏ら来賓を含め、29名の出席がありました。

井上会長は「昨年は油事故、今年はイカナゴの不漁、また世の中も不安定な時ではありますが、地元のおさかなを使った魚食普及など女性連らしい活動を通し、明るく豊かで住みよい漁村作りのために頑張りましょう」と挨拶されました。来賓を代表して、JF神戸市 河本勝博参事より、魚食普及や食育活動など、女性部の活動は漁家経営安定に欠かせないものであるとして、それら活動への尽力に対する感謝と今後へのさらなる期待が述べられました。

続いて、環境保全活動や魚食普及運動などの事業報告や、新年度事業計画が審議され、全会一致で原案どおり承認されました。

淡路の魚のブランド化に重点を 淡路地区漁協青壮年部連合会

5月29日(金)、洲本市内において淡路地区漁協青壮年部連合会(19クラブ、288名)の平成21年度通常総会が開催されました。淡路の漁業生産を担う若い会員たち84名の熱気が会場に溢れる中、中村高治会長は冒頭、「(魚が)獲れない、安い、売れない苦境にあるが、今こそ漁青連の力を結集し、活気ある漁村を築いていこう」と力強く呼びかけました。

議長には中川照海氏(津名漁協)が選ばれ、平成20年度事業報告、21年度事業計画などの議案が審議・承認されました。とくに、新年度は「淡路の魚のブランド化」や「海づくり、森づくり」に活動の重点を置いています。

総会終了後には学習会が開かれ、県立水産技術センターの反田實所長から「瀬戸内海漁業の現状とこれからの課題」と題する講演があり、漁船漁業では震災の年(1995年)を境に漁獲・資源量などが減少に転じたことや、ノリの色落ち

のメカニズムなどの説明があり、いずれも関心の高い内容だけに、スクリーンの図表を見ながらの活発な質疑が行われました。最後に、反田所長は「資源管理も大切なこと。意識して取り組んでいこう」と締めくくり、閉会になりました。



淡路地区漁青連総会の様相

今秋にも全島あげて植樹事業実施

アオリイカ産卵床造成活動を“シバの森づくり”で後押し

(社)淡路水交会

(社)淡路水交会の第38回通常総会が去る6月3日、洲本市内のホテルで開催され、平成20年度事業報告ならびに収支決算報告、役員補欠選任の2議案が審議され、いずれも原案通り承認されました。

総会では前田吉計会長が「イカナゴ不漁や魚価低迷など厳しい環境が続いており、我々、水交会も変わってゆく、いや、変わらなければならない。20年度はノリの41億円水揚げで少し慰められたが、全体的には厳しさは変わらない。そんななか、3年目を迎えるアオリイカ産卵床設置活動が全島運動に広がってきたことは喜ばしい。今年は、産卵床にするシバの植栽など森づくりを資源対策と

並行して進めたい。漁連や振興基金の応援をお願いして、秋に水交会主催で実施したい。会員の特段の協力をお願いする」と挨拶され、続いて来賓を代表し、県議会永田秀一議員、淡路県民局長棟局長、JF兵庫漁連山田会長が祝辞を述べられた。特に、山田会長は挨拶の中で7月5



挨拶に立つ 県漁連・山田会長

日の知事選に触れ、「是非、組合長から組合員に棄権防止を呼びかけてほしい。漁村の投票率を上げることが水産政治力結集に繋がる」と訴えられた。このあと、JF育波浦小溝組合長を議長に議案審議が行われ、役員補欠選任では理事に西岡 勇(JF炬口)、中田 勝(JF津名)、東根 壽(JF淡路町)、野上 豊(県洲本農林水産振興事務所)、監事に播磨孝次(JF五色町)の5氏が満場一致で選任され、総会は終了しました。



淡路水交会通常総会の様相

資源をムダにしない漁業を目指して

摂津播磨地区漁協青壮年部連合会

摂津播磨地区漁協青壮年部連合会は、5月30日、平成21年度通常総会をフローラルイン姫路で開催しました。大角会長の開会挨拶に続いて、来賓の県水産センター山下専技は「昨年のG号に始まり、今年のカナゴ不漁に至るまで試験続きであるが、この環境の中、ガザミふやそう会を20年来継続していることを高く評価したい。西播のアサリ養殖も含め、今後も継続を望みたい」と挨拶され、(社)播磨漁友会の井上会長は「漁業を取り巻く環境は厳しいが、海にかかわる仕事は産業の基本であり、子供の魚食習慣を付けるような魚食普及活動を継続することで外にも普及するので、将来は決して暗くはない」と力強い挨拶を述べられました。



大角会長の議事進行

続いて、平成20年度事業・決算報告、平成21年度予算案などが審議され、原案どおり承認されました。事業計画では、効果的な栽培漁業、資源管理型漁業の推進と、21世紀に対応するための知識の習得、自己研鑽などのため、6項目の

活動方針が決定されました。

次いで「ガザミふやそう会」の活動計画では、10項目の基本方針、本県産ガザミ「祭りガニ」のブランド化事業の推進方針が再確認されました。

また、退任に伴う新役員の選任では、新役員にJF赤穂市の成村良一氏が選出されました。

総会に引き続き、県水産課 高木課長補佐による「豊かで美しい海づくり」のテーマでの学習会では「第2鹿の瀬構想」や「石材による天然礁の模倣」など、さまざまな取組内容が講義され、60名の参加者は熱心に聴き入っていました。



学習会の様子

“チャレンジ 家族の笑顔 ありがとう” 役員改選で森会長再選さる



山本由里枝氏の講義

「私達は、女性ならではの発想と工夫で、明るく豊かな漁村づくりを目指し、お互い手を携え…」と決意を新たに、淡路地区漁協女性部連合会の平成21年度総会が、去る5月30日淡路水産センターで開かれました。総会は16女性部から代表ら約40人が出席し、平成20年度事業報告、収支決算、同21年度事業計画・収支予算の承認に続き役員改選が行われ、森 武美会長ほか6名の役員が選任されました。淡路県民

淡路地区漁協女性部連合会

局野上農林水産振興事務所長、(社)淡路水交会前田会長、JF兵庫漁連山口専務ほか県・団体関係者11名が来賓臨席され祝辞を頂いたが、特に、前田会長から「淡路全島でアオリイカ産卵床設置事業を推進しているが、今年からパベの木植樹活動を併せて進め、資源管理意識の普遍化に努めたいので女性部のさらに協力を…」と期待が述べられました。

また、総会のあと淡路市健康増進課保健師山本由里枝さんを講師に迎え「生活習慣病の現状と漁協女性部員の健康づくりについて」講習会があり、淡路島内は特に生活習慣病に対する意識が低いと指摘され、家族全員の健康管理への気配りなど指導されました。



総会での審議

平成21年度通常総会を開催

淡路漁協職員協議会

6月6日(土)、洲本市の夢海遊において、淡路漁協職員協議会(福岡靖二会長、138名)の平成21年度通常総会が開催されました。60名の出席のもと、平成20年度事業の実績報告等が行われ、平成21年度の事業計画とともに承認・可決されました。

当協議会は、漁業生産活動の中核となる漁業協同組合の運営を直接担当する漁協職員で構成され、職員相互の交流だけでなく、事務能力の研鑽や資質の向上を図るため、研修事業等を毎年、積極的に開催しており、福岡会長は「漁業経営が厳しい時代にあつてこそ、我々職員の一層の努力で、漁協事業を盛り立てていこう」と、決意を述べられました。

総会終了後の懇親会では、日頃、あまり顔を会わせる機

会の少ない各漁協の職員さん同士の懇談の輪が広がり、また、淡路水交会前田会長をはじめ来賓の皆さんを囲んで、会話ははずみました。

漁業活動の活性化が必要な今こそ、漁協職員の皆さんの頑張りが期待されています。



淡路漁協職員協議会総会の様子

調理研修会を開催 兵庫県漁業士会

より多くの人たちに兵庫の魚を知ってもらおうと、これまでも県漁業士会では各地で魚食普及活動を展開していますが、このたび「より専門的な調理技術を身につけよう」と、漁業士自らが生徒となつての調理研修会が、5月19日（火）、県立水産技術センターで開催されました。

JF兵庫漁連・魚食推進室の山崎室長を講師として招き、アジ、タイ、イカなどを教材に、さばき方、盛りつけ方などを実演指導してもらい、プロの調理技術を学びました。目の前で鮮やかな包丁さばきとわかりやすい説明に、漁業のプロたちも「なるほど!」。13名の参加者は、その後、視聴覚室で小学生や主婦グループなど、対象階層別に包丁の使い方や魚料を教える際のノウハウなど、きめ細かな講義を受けまし

た。さらにレベルアップした漁業士会の、今後の活動が大いに期待されます。



調理技術を学ぶ漁業士会のみなさん

総会と50周年記念式典 播磨地区漁協女性部連合会

結成50周年を迎えた播磨地区漁協女性部連合会（本多春代会長、846名）は、6月3日（水）、ラヴィーナ姫路において平成21年度通常総会を開催しました。12時30分からの通常総会では、平成20年度事業報告、平成21年度事業計画などの審議に続いて役員改選も行われ、新たな体制、新たな気持ちで新年度に臨むこととなりました。

総会終了後、50周年記念式典が満席のホールにおいて華やかに開催されました。式典冒頭の主催者代表挨拶や県姫路農林水産振興事務所・大谷所長ほか各団体の来賓祝辞に続き、記念講演として愛媛大学講師の若松進一先生による「まちづくりの新しい風」と題する講演が行われました。

愛媛県双海町（現伊予市）の活性化のために、「夕日のまちづくり」を邁進され、今年年間55万人の集客を実現するに至った体験談が楽しく語られ、流れるような口調と（次はどうなるんだ?）と思わずにはおれない、興味深いストーリー

展開に、120名の参加者は熱心に耳を傾けました。このたびの50周年を契機として、播磨女性連の今後益々の活躍と、活気溢れる地域づくりが期待されます。



播磨女性連・50周年記念式典の様

平成21年度全国海難防止強調運動のお知らせ

海難事故ゼロをめざし、
全国海難防止強調運動が展開されます。
海上安全はみんなの願い。こぞって運動に
ご理解とご協力を!

しっかり見張って
早めの回避、
あなたの安全・
家族の安心



期間：平成21年7月16日（木）～31日（金）の16日間

主催：(社)日本海難防止協会 (財)海上保安協会 海上保安庁

後援：総務省 文部科学省 水産庁 国土交通省 海難審判所 気象庁 運輸安全委員会 (財)日本海事センター

重要事項

- ① 見張り不十分または操船不適切による衝突海難の防止
- ② ライフジャケットの着用の推進

「JA丹波ささやま 通所介護施設ほほえみ」竣工!

JA丹波ささやまは、4月16日午前10時から来賓、JA関係者約70名が出席して、「通所介護施設ほほえみ」（篠山市東新町）の竣工記念式典を行いました。

団塊の世代を中心とした高まる老後・介護の不安に対し、福祉事業への新たな取り組みとして「通所介護施設ほほえみ」を設立し、今後の高齢者福祉事業の第一歩としました。本施設で機能訓練や食事、入浴のサービスをご利用いただくことで、利用者の心身機能の維持向上、ご家族の介護軽減を図り、笑顔に満ちた生活を間接的に支援させていただくとともに、レクリエーション等を通して、ご利用者同士の仲間づくりの場所を提供します。

JA丹波ささやまでは、「児童クラブ」施設に続き、今回の通所介護施設も旧JA施設を改修し、活用しています。

今後も地域住民が安心して生活できる、暮らしに密着した地域づくりを目指して、本施設を通じて新たなサポートをしていく方針です。



竣工記念式典テープカット

<http://www.ja-hyogo.or.jp/>

毎日の必需品1200品目の 価格引下げを実施します!

コープこうべでは、組合員のくらしを応援するために、年間で合計1200品目の商品について、店舗通常価格を引き下げることにしました。

対象となる商品は、コープ商品、一般メーカー商品の中から、特にご使用頻度の高い生活必需品を中心に選定しています。4月1日には、約700品目を最大50%値下げ。ご利用になった組合員からは、大変好評をいただいています。

また、この取り組みと関連して、コープこうべ六甲アイランド食品工場で製造する麺類、豆腐など、使用頻度の高い商品についても、低価格でおいしい新規商品の開発をすすめています。4月1日には、「COOP'Sむし焼きそば1食」と「COOP'Sゆでうどん1食」をそれぞれ38円で販売を開始。5月からは、一斤98円の食パンや一丁58円の豆腐も順次供給する予定です。

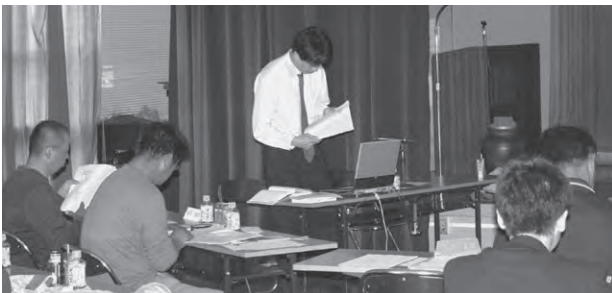
これまで取り組んできた、「組合員証スペシャル」「とっておき家計応援」、また「コープ商品50周年」の取り組みなどをあわせて「まかせてコープ!!くらし応援団」をキャッチフレーズに展開し、組合員の期待におこたえしていきたいと考えています。



<http://www.coop-hyogo-union.or.jp/>

大輪田塾だより

「漁業法概要」



県水産課 森本主査の講義

5月25日（火）、兵庫県立水産会館で大輪田塾が開催され、兵庫県水産課の平石靖人課長補佐兼係長が「漁業法概要Ⅰ」と題し、また同じく兵庫県水産課の森本利晃主査が「漁業権について」と題して講義が行われました。

今回の2講義は必修科目で、修了を控えた3期生を中心に7名が受講しました。

平石課長補佐の講義では、漁業法の沿革や目的、漁業の種類、漁業調整委員会の内容に至るまで概要把握に重点を置き、また、森本主査は、制度的な漁業の分類として、漁業権漁業と許可漁業との相違とその内容、漁業権免許取得までの流れから、規制改革会議での漁業権の扱いまで詳細を極めた内容となりました。

塾生は日々の漁業活動に重ね合わせ、特に漁業権の性質や入漁権について質問をしていました。



県水産課 平石課長補佐の講義



旬に想う

写真と文
遊方子

高齢者激増時代

◆遊園地のコースターの魅力は、頂上へ上り落ちてゆく加速度にあり、落下する速さが快感に繋がる。車のアクセルを踏み込む時の感じに似ており、スピードの持つ魔力とも思える。その快感は、性欲を達成した快樂に通じるようにも思う。人間は本質的に快樂を求めると言うが、それは齢で変化するようだ。急な坂道を自転車で転がり下りたが、スピードの恐さに思わずブレーキを掛けた。自分が高齢者の仲間入りをした今、速度に対する快感が怖れに変わったらしい。車の運転でも速度の抑制で、後車に疎まれていようにも思っている。

◆2020年頃、2,000万人近い高齢者が運転している可能性があるらしい。超高齢社会の到来であるが、自動車が生活の中心にある事には変わりはあるまい。現代、交通事故死者の4割近くが高齢者である。自転車走行中や歩行中の事故例が多いけれど、高齢での運転事故も増えている。生活に溶け込んだ車を安全に転がすには、新たな交通社会を築く必要がありそうだ。車を運転する場合、目的地へ早く行きたいため、他者への配慮を蔑ろにし勝ちである。この感情を抑え、自分勝手な運転をセーブするのは、非常に難しいように思う。

◆江戸時代、混んでいる乗合船に乗った場合、皆がこぶし1つ分を腰を浮かせて詰めて席を譲ったそうだ。この《江戸しぐさ》を現代に応用できないか。他者への配慮である。運転席に座ると人が変わると言うが、車の運転は匿名性という特徴があ

って自分を飾らずに済むため、他者への振る舞いが非常に粗野になる。遮蔽された車内で、独裁者の心理から理性を失い衝動的な側面に支配される。先急ぎの気持ちも大いに作用し、スピード違反や信号無視を犯して仕舞うのである。他者を思いやる心こそ大切なのだと、つくづく思うのである。

◆高度成長期の終盤、事故死者が増大し《第1次交通戦争》と呼んだ。そして交通施設の拡充や取締り罰則強化によって少し減少したが、80年代以降に再び事故死者が増加傾向を見せて《第2次交通戦争》に突入したという。交通三悪の《飲酒・無免許・最高速度違反》は、故意による悪質行為であり、それが事故の原因なら厳罰を受けるのは当然だろう。高齢者の運転技能は、視覚の低下ほどには劣らないとも言われるが、生活自体を変え移動手段の使い分けをしている。目的地が近ければ歩行・自転車・公共輸送機関とし、それが不可能な時にだけ自動車を選んでいる。クルマ社会へ突入した今、運転者は心せよと声を大にしたい。『急がず・焦らず』『黄色信号は止まれのサイン』



「田舎家と自転車」(篠山市にて)

兵庫県知事選挙

投票日 **7月5日(日)**

投票時間 **午前7時～午後8時** ※一部の地域を除く

投票日当日、仕事、買い物、レジャーなどの予定がある方は、**期日前投票**をすることができます。

期日前投票のできる期間

6月19日(金)～7月4日(土)

詳しくは、住所地等の市区町選挙管理委員会へお問い合わせ下さい。

みなさんそろって投票しましょう!!

表紙の言葉



「竣工間近の兵庫県水産会館」

子午線の通る町、明石で間もなく竣工する兵庫県水産会館。
兵庫の水産に新たな時を刻み始めます。

